



サロン「みんなの保健室」で開かれた口腔ケアの講演会。講師の水沼常務理事は口腔と全身の健康との関連について解説した=2月中旬、宇都宮市伝馬町

社会保障費抑制にも

社会保険費抑制にも
早期発見、ケア訴え
識者た。た。
講師を務めた水沼常務理事は、「みんなの保健室」で開かれた口腔ケアに関する講演会。地域の保健師など15人が集まつた。講師を務めた水沼常務理事がスタートの合図をするところ、参加者はどどとけを認する。「反復唾液嚥下テスト」。機能が低下していると、2回しか飲み込めない人をいるという。水沼常務理事は、「こうしたチェックを行い、高齢者のオーラル

フレイルに注意してほしい」と呼び掛けた。
オーラルフレイルとは、口腔機能の軽微な低下や食の偏りなどを含んだ身体の衰え(フレイル)の一つ。最初は食べこぼしやむせ、かめない食品が増えるなどするが、気付きにくいのが特徴だ。バランス良く食事ができない状態が悪化するにつながらることもある。また飲み込む力が衰えると、食物が気管に入ってしまう。「誤嚥」が発生しやすい。食物や唾液と一緒に細菌が気管から肺に入る。これらの症状を生じさせ

設問

【1】見出しや本文にある「後期高齢者」とは何歳以上ですか。当てはまる語を下から選び、数字で答えてください。

- ①65歳 ②70歳 ③75歳 ④80歳

【2】「オーラルフレイル」とはどのような症状のことですか。本文中から抜き出して答えてください。

【3】記事に照らして、次の各文について正誤を○×で答えてください。

- ①高齢者の健康寿命を延ばすためには、オーラルフレイルを早期発見することである
②オーラルフレイルは口腔内だけの症状であり、他

加齢に伴い、歯や口腔の機能が低下する「オーラルフレイル」。全身に関わるさまざまな病気を引き起こし、要介護のリスクを高める。後期高齢者

者のオーラルフレイルを早期に発見できれば、介護を予防し社会保険費の抑制にもつながる。県歯科医師会の水沼秀樹常務理事(59)は「ささいな口腔機能の衰えを軽視しないことが重要。それが高齢者の健康寿命を伸ばすことになる」と強調する。
(飯田ちはる)

早期発見、ケア訴え 識者

後期高齢者口腔機能

「衰えの兆候 軽視せずに」



110

高校生向け 年組

るオーラルフレイルは、切にケアすることで改善できる。要介護状態に陥る前に発見することが重要だ。水沼常務理事は「より多くの人が自分の歯で食事をでき、健診を充実させることに元気な生活ができるようが大切」と訴えた。

の健康に起因することはない
③オーラルフレイルの兆候は、すぐに発見できるとされている
④オーラルフレイルは唾液の分泌量も関係している

【4】なぜ「オーラルフレイル」に注意するこ^二重が重要なのか。本文中の「サルコペニア」「誤嚥性肺炎」の語句を用いて、100字程度で端的にまとめてください。